

令和4年度

# 事業報告書

自:令和4年4月1日  
至:令和5年3月31日

認定NPO法人いわて子育てネット

理事長 金沢 滋

**認定 NPO 法人いわて子育てネット  
令和4年度の事業報告書  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで**

**1. 事業の概要**

今年度も新型コロナウイルス感染症蔓延の中、感染予防の措置を取りながら子育てサポートセンター、盛岡市つどいの広場にこっこ、もりおか子育て応援プラザの各施設運営、助成事業を遂行した。幸いにも各施設や助成事業での感染者もなく過ごすことができた。後半は新型コロナウイルス感染者の減少に伴う緩和処置に合わせ各施設に来る利用者も増加しつつあった。

運営施設の中で、平成22年9月2日中三ビルに開設した盛岡市つどいの広場にこっこは、設置場所を幾度か移転しながら運営していたが、バスセンター内子育て支援施設開設に伴い令和4年10月31日に惜しまれながら閉館した。

各施設スタッフについては、募集をしても応募者がなく新しいスタッフの補充が出来ない。長年サポートしてくれているサポーターの高齢化も進みシフトを組みにくい状況であったが、各施設協力し合って乗り切っている。待遇改善の必要性を痛感した年でもあった。

助成事業はいきいき支援財団の助成を受けて「ようこそ盛岡へ」と盛岡市子ども基金による子育て支援事業「年末年始特別産前産後支援プロジェクト!」を行なった。産後支援については盛岡市に3つの提案を行なった。

11月30日 当法人の長年の活動が評価され、内閣府から「子どもと家族・若者応援団表彰」を受け、入院していた村井理事長に代わり両川副理事長が表彰状をいただいた。

12月1日 入院していた村井理事長の訃報が届き、会に走った衝撃はあまりに大きかった。

2、3年前から新旧交代の話題が理事会で上っていた。村井理事長が亡くなり、両川副理事長も辞職となると法人の運営に不安が募り、解散という声も聞こえてきたが、毎日のように施設に見える利用者、従事しているスタッフ、社会的責任、何より村井理事長の思いを鑑みれば何としても継続していかなければという覚悟に繋がっていった。

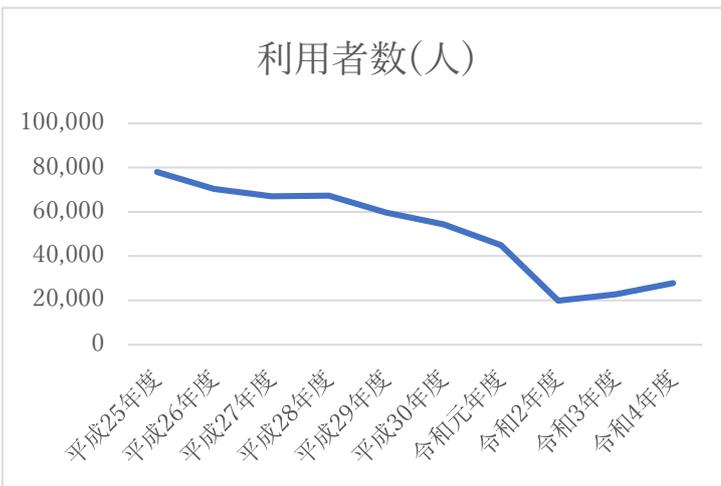
新理事も迎え、新しい体制構築に向けて動き始める時期となった。

令和4年度事業を利用、参加した総人数：27,721人（昨年度利用者22,641人 昨年度比1,22%増）

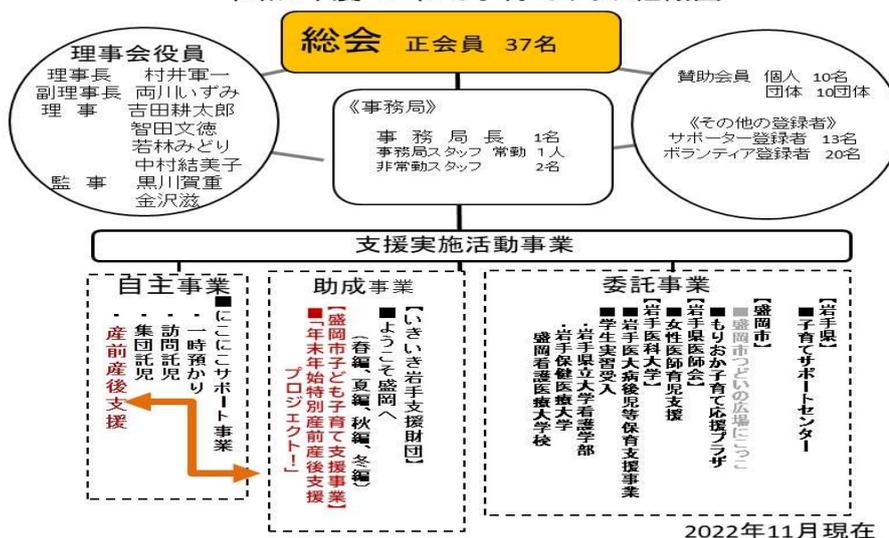


ここ10年間の利用者数の推移

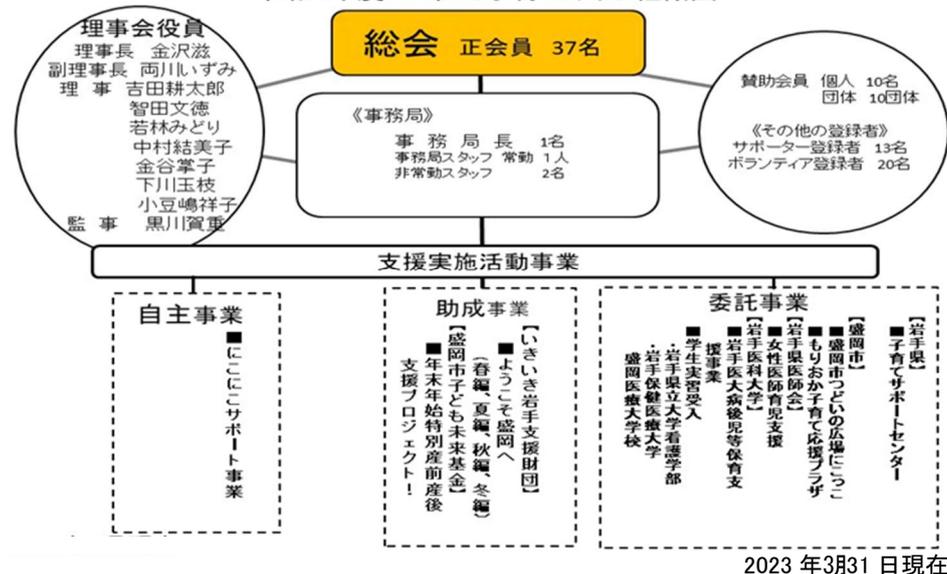
年度	利用者数(人)	
平成25年度	78,132	東日本大地震 復興支援も含む
平成26年度	70,349	
平成27年度	67,111	
平成28年度	67,267	
平成29年度	59,664	
平成30年度	54,372	コロナ禍
令和元年度	44,915	
令和2年度	19,816	
令和3年度	22,641	
令和4年度	27,721	



令和4年度 いわて子育てネット組織図



令和4年度 いわて子育てネット組織図



2. 事業に実施に関する事項

委託事業について

新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら、慎重に各事業を進めた。各運営施設とも利用者数が減少した。

岩手県立大学、岩手保健医療大学から看護学生の実習を子育てサポートセンター、もりおか子育て応援プラザで受け入れた。また、盛岡看護医療大学校も盛岡子育て応援プラザで実習を受け入れた。

助成事業について

I いきいき岩手支援財団【いわて子ども希望基金】

『みんなでとっとこクラブ』一緒にあそぼっ！楽しもう♪

【Event 1】“Discover Morioka!”盛岡ってどんなところ？

■日時

6/9(木)10:00~11:30

9:50 受付開始

■場所

もりおか歴史文化館前集合～櫻山神社・神社脇～多目的広場～三の丸跡～二の丸跡・石川啄木歌碑あたりでおしゃべり会・現地解散

■定員・参加数

- ・定員…8人
- ・参加者…2組4名（1組キャンセルあり）

■参加費

200円/人（郷土菓子代）

■協力者

- ・ガイド…石川京子氏（盛岡ふるさとガイド）
- ・ガイド手配…公益財団法人 盛岡観光コンベンション協会

■運営側・スタッフ

佐藤ひとみ（マモールスタッフ）、ギブサン浩子（アシスタントスタッフ）

■まとめ

○参加者感想

- ・盛岡出身で遊びやお花見など何度も訪れているところではあったが、歴史を知らなかったのでお話を聞いてよかった。
- ・歴史に詳しくないので、人名が出てきてもよくわからなかったが、もりおか歴史文化館の屋根が岩手山をかたどっていることを知れただけでもよかった。

○おしゃべり会内容

- ・ガイドの石川さんにも入っていただきながらゆったりと話をした。

「子育てで大変なところは？」

「小さいときは大変だったけれど、今は動きも活発で声も大きくて目が離せず大変。いつになっても大変だと感じる」

「今はものを取って投げたり、紙をびりびり破いて口に入れるなど。できることが増えてうれしいのが半分、目が離せず大変なのも半分です」

- ・子どもの寝相について「どこに行ってしまうかわからなくなる！」「頭をぶつける」など意気投合した。

・石川さんは「盛岡市の人口は減少していて子どもはとても大切。子育てをぜひ楽しんでほしい。自分の時代は、乳幼児（赤ちゃん）は肌を離さず、幼児は手を離さず、子どもは目を離さず、少年（中学生頃）は心を離さずと言われました。子育て、頑張ってください」と、ご自分の子育てを思い返しながらエールをくださった。

○スタッフ感想・気づいた点等



## 議案第1号

- ・赤ちゃんの親子だったので、ふるさとガイドのお話をゆっくり聞くことができたと思う。歩くようになったお子さんでは難しいかも？
- ・花が咲いていたところはハチが多かったです。
- ・宗教の関係で桜山神社の門を通れないという方もいました。
- ・イヤフォンガイドはコロナ対策として導入したもので参加者に使用してもらうようにと指示が出されているとのこと。お母さんがバギーを押して歩く場合は良いが、赤ちゃんを抱っこなどした場合引っ張られたりする可能性もあると佐藤さんからご意見があり、参加者に一応お渡しはするが使用するかどうかはそれぞれにお任せすることに。結局参加者お二人とも耳にイヤプラグを差し込んでおられ、お使いになった様子だった。
- ・釣銭の用意が必要だった。
- ・今日の参加者さんの赤ちゃんはまだ歩くことができないから、ベビーカーを使ってお母さんたちはかえってガイドさんのお話に集中できたようだった。
- ・歩き始めの時にお子さんがぐずり始め、お母さんは抱っこ紐で抱っこをすることに。その後佐藤さんが全行程バギーを押してサポートした。
- ・蛍の里の後の坂道はバギーを押しながら上るのは少しきつそうだった。途中未舗装の道もあり大変そうだったが、「大丈夫！」ということで進まれた。
- ・赤ちゃんを抱っこしてかつバギーを押すのは、なかなか大変そうだった。もし参加人数が増えてスタッフが2名だけだったら散策は大変だったかもしれない。公園内の坂道はなかなか急で、未舗装の部分で石ころがあってガタガタする箇所もあった。



## 《Event 2》 "Let's Make Mini Drum for Sansa Odori Dance!" ミニさんさ太鼓をつくろう♪

### (1) 目的

- ・子育てをしている人たちが安心して楽しめる交流の場を作る
- ・様々な背景を持った親子も含めてみんなが安心できる場を作る
- ・子育てでの孤立を防ぐ
- ・ママ友、パパ友づくりのきっかけや子育て支援施設の利用につなげる
- ・子育てを含めた暮らしを楽しんでもらう
- ・地域に愛着を感じてもらえるようにする

### (2) 内容

- ・盛岡さんさ踊りに向けて、ミニさんさ太鼓を制作。ある程度作ってあるキットを完成させる（制作時間40分程度）
- ・作り方や当日の様子を文章と写真でまとめて、マモール掲示板に掲出。自宅にあるもので作れることを紹介して、作ってもらうことを促す。
- ・共催：もりおか子育て応援プラザ ma\*mall

### (3) 日時

7月21日（木）

### (4) 場所

もりおか子育て応援プラザ ma \* mall

### (5) 参加人数・参加費

- ◆人数 8組（4組×2回）
- ◆参加費 800円/組（材料費）

### (6) 当日流れ

時間	内容	備考
9:00 前から	■会場準備【細田】 ・座卓を中心にそのサイドにベンチ	・8:30～8:45 細田出勤

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太鼓セットを配置（座卓に2つ、ベンチに1つずつ）</li> <li>・ホワイトボードに作り方の流れを書いておく</li> </ul>	
9:30～9:40	<p>■1回目受付</p> <p>マモールの受付をしてもらい、会場へ案内する</p> <p>■参加費の支払いと座席案内</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加費受領・領収書【細田】</li> <li>・座席案内【実習生】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9:30～9:40に入ってもらおう</li> </ul>
9:40～10:20	<p>1回目制作</p> <p>■説明【細田】5分程度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介・スタッフ紹介</li> <li>・事業について（目的、助成元）</li> <li>・スケジュール</li> <li>・注意事項等（写真の使用、終了後は遊び場で遊ばずにおむつ交換や授乳の使用にとどめてもらうご協力）</li> </ul> <p>■制作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅津さんをリーダーに進めていく。大まかに説明してもらい、それぞれ進めていく。</li> <li>・側面△貼り→○貼り（表に注意）</li> <li>・「紐の輪ゴムを1つずつ外す、学生さん回収してね」</li> <li>・（側面と缶をつける）→紐のある側面を上にして・紐を通していく</li> <li>・バチ・腰ひも配布、通し方を紹介（時間のある人はする）</li> </ul> <p>■感想・集合写真 5分程度</p>	<p>○実習生の方をお願いしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者に座る場所を案内</li> <li>・制作をしているときにお子さんと一緒に制作を楽しんでいる人はそっと見守り、進めたいのにうまくできていない方がいれば、お子さん少し遊んだり声をかける（イベントとして託児はない前提で周知を図っています）</li> <li>・両面テープの剥離紙や輪ゴムを子どもが口に入れないように回収する</li> <li>・紐の輪ゴムを外して伸ばす際困絡まって困っている方がいたらサポート</li> </ul> <p>その他臨機応変に対応いただくとと思いますが、その都度お願いしたいことを伝えます。</p>
10:20～10:40	テーブルの消毒・2回目制作準備	
10:30～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目参加者入場</li> <li>・実習生交代</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者には会場に10:30～10:40に入ってもらおう</li> </ul>
10:40～11:20	2回目制作（1回目と同様）	
11:20～11:40	片付け	



## 《Event 3》「秋の遠足会 バスに乗って自然遊びに行こう♪」 “Bus Trip to Sotoyama Forest Park

### ■日時

9月22日(木)9:00~12:30頃

※8:50 受付スタート

### ■場所

盛岡城跡公園観光バス停車場下ノ橋方面集合・  
解散、自然遊び会場:盛岡市外山森林公園

### ■定員・参加数

・人数…定員 8 組

・参加者…7 組 14 人(申込は 7 組 15 名)

### ■参加費

500 円/組(そば餅 1 個、自然遊び資料代)

### ■協力者

・谷藤長利氏、鎌田多恵子氏(岩手県シェアリングネイ  
チャー協会)

・盛岡市外山森林公園

### ■スタッフ

ギプサン浩子氏(アシスタントスタッフ)、細田真理子(担当)



■内容・スケジュール

○テーマ…「秋のはじまり、めっけ！」

○日常に生かしやすいもの・視点を中心に

- ・バンダナバックを作る
- ・お宝さがしをしながらお散歩
- ・キャンプ場または大屋根(雨天時)のところで葉っぱを並べて遊んだりする
- ・たんけんるーぺやとじこめーるも遊びの道具として入れておき、使いたいときに使えるようにしておく。最初に説明をする。

時間	内容・備考
7:30	<p>■実施の有無判断・中止の場合連絡【谷藤さん・細田】</p> <p>※中止の場合は次のように連絡。なお、週間天気予報で荒天が分かっている場合は事前に中止を判断(今回は市街から離れており病院が遠いこと、天気・会場の様子が分かりにくいため)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・谷藤氏→鎌田氏</li> <li>・細田→ギプサン氏、参加者、バス会社、外山森林公園、両川</li> </ul>
8:30	<p>■スタッフ集合・最終打ち合わせ(バス乗り場)【ギプサン氏、細田】</p>
8:50	<p>■受付開始</p> <p>○名前確認、体温・体調確認、消毒、参加費徴収・領収証【細田】</p> <p>○乗車・車内案内【ギプサン氏】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイヤの上の座席は乗らないように案内(事前に配布するグッズを置いておき、そこに座ってもらう)</li> <li>・名札をつけてもらう、資料配布</li> </ul> <p>※雨天時は名前だけ確認し乗車してもらう。ギプサン氏と細田で手分けして受付。</p> <p>※バギーはバスの下に収納(場合によっては座席隣も可)</p>
9:10	<p>■出発</p> <p>■説明【細田】</p> <p>事業説明、今日の流れ、外山森林公園についてどんな自然遊びにする？心がけること、会場で気をつけること、(トイレ、おむつ交換、全体の流れを進めるがトイレに行くとかちよっと売店に行くなどの場合は声をかけて、自然遊びの範囲を示す、マスクは適宜着脱を、しおりと対応させてスケッチブックに書いてバス内で説明)</p> <p>■可能なら自己紹介</p> <p>■現地直前下見・準備【谷藤氏、鎌田氏】</p>
9:50頃	<p>■外山森林公園到着</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者はバスの中でおむつを替えてから下車</li> <li>・到着後すぐ下車→現地集合者受付、フォロー【細田】</li> <li>・お手洗い案内、外山森林公園受付、そば餅注文【ギプサン氏】</li> </ul> <p>そば餅は1個150円、到着後利用者申請を記入・注文する旨4/27確認)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者の誘導・散策路入口でバンダナバックづくり【谷藤氏・鎌田氏】</li> </ul>
10:00 -11:50	<p>■自然遊び【記録:ギプサン氏、細田】</p> <p>○自己紹介、遊び場の範囲紹介【細田】</p> <p>以降講師にお願いする【参加者サポート:全員】</p> <p>(○ここからただほぐし)【谷藤氏、鎌田氏】</p> <p>○お散歩をしながらお宝さがし、キャンプ場または大屋根のところでお宝を使って遊ぶ【谷藤氏、鎌田氏】</p> <p>■11:00頃そば餅受け取りと支払い(領収証受け)【ギプサン氏または細田】</p> <p>■屋食・おしゃべり【進行:細田】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少し距離を取りながら</li> <li>・今日の感想、時間があれば日頃の外遊びについて伺う</li> </ul> <p>※適宜トイレ(大人のトイレの場合、お子さんを一時的にみていることも必要)</p> <p>※全体の流れを進めつつ、子どもの興味や状況に合わせて行動してOK。その場合は講師やスタッフに声をかけて、親子一緒に行動してもらう。</p> <p>※バギーは難しいかもしれないが、使いたい方は使う。途中で進めなくなれば炊事場等に置かせてもらい、帰りに持ち帰る。</p> <p>※講師・スタッフも適宜トイレ休憩を</p> <p>※雨天時はバスまでの移動を考えて行動</p>
11:50-	<p>■バス乗車、講師とあいさつ</p>

	バスの中でおむつを替えてから
12:00	■出発 ゆったりと車窓を眺めながら静かに帰る
12:30 頃	■到着・解散

■まとめ・感想（講師・アシスタントスタッフみなさまよりメールにて）

#### ○谷藤氏

森林公園でのゆったりとした時間の流れは、日常の子育ての時に見るお子さんの様子とまた違った発見もあったと思います。

バツタに興味を示し「フーフー」と息を吹きかけていた子、よちよち歩きの子が斜面を動くうちに足取りやバランスが取れてきた様子も見えました。何より、木の実や葉っぱで楽しそうにお弁当を作ったり、目玉を付けたお友達を大切に持ち帰るお子さんもいました。それぞれに、無理なくやわらかな自然遊びの時間を過ごしていただけたのかなと思います。また、参加された皆さんの声を聞けたら有難いです。

転んでしまったAくんのフォローもしっかりしていただいていたので、その後大事に至らないことを願います。

#### ○鎌田氏

外山のゆったりした森林の様子は、勢い盛んな夏の自然がゆっくり豊かな秋へと移行行く季節の変わり目を伝えてくれ、子供たちのペースを受け止め付き合ってくれているようでした。ママたちもそんな子供たちの姿を、自然の流れの中で共に過ごしているように感じられました。

今回の参加者たちの2, 3歳の子たちは年齢的にもこちらの働きかけに耳を傾けてくれ歌遊びにも関心を持ってくれたかな、と力を感じました。いつも思うのですが年齢が違っても一人ひとりの子供たちが今日の自然環境にワクワクして体が動き出してくるような出会いの始まりをなんとか工夫したいと思うのですが、一人ひとりと向き合うのはなかなか難しいです。

森林の入り口で、準備の早くできた人も、トイレでバタバタ駆け込んできた人も気持ちがばああと盛り上がるような出会いを準備したいです。

#### ○ギプサン氏

とっこクラブ秋の遠足は、全体の流れも時間配分も内容も、バランスの取れた良いものだったと思います。参加されたお母さんたちお子さんたちにとっても大きな森林で新しい時間の発見や経験になったのではないかと感じました。

谷藤さんがおっしゃるように、歩き始めたばかりの子たちが砂利道や坂道を楽しそうに歩いていく様子を見るのは胸に込み上げるものがありました。木の実を触るのが面白くてずっと飽きずに木の実で遊んでいるお子さんを見てお母さんが驚いていらっしゃることを拝見し、自然が伝えてくれるものの偉大さを垣間見たような気持ちでした。

小さな反省点として、受付の時にきちんと自己紹介をしておくべきだったと思いました。小さなお子さんや赤ちゃんをお連れになったお母さんたちがひとつの場所に集合するということはそもそも容易いことではなく、参加人数が多ければ多いほど難しくなりますね。

受付の時参加者さんのお名前をお伺いする前にまず自分が名乗っていれば良かったのだと後で気付きました。後の方に受け付けた方には胸から下げた名札をかざして自己紹介をしたのですが、最初のお二人くらいにはそれが出来ていなかったです。次回は気をつけようと胸に刻みました。

## ○担当所感

- ・申し込まれた皆さんが体調を崩さず全員参加でき、普段経験しない長時間のバスの行きかえりも頑張り、自然遊びと森の中でお弁当を食べることができ、ニコニコも泣きもいろいろありながらも過ごしてもらえたことがとてもうれしかった。
- ・すべての道具をザックに入れて持ち運び。結果使わないものもあったが、両手が空き移動しやすくてよかった。
- ・今回下見を踏まえて詳細をリマインドメールできたこと、バスの中でゆっくりと過ごしながらも説明ができたことがよかった。アンケートでもそれが安心につながっていたようだったことが分かったため。
- ・○外山森林公園到着後、ギプサン氏利用申請やそば餅の購入をお願いでき、ばたばたしつつもうまく役割分担ができたことがよかった。
- ・行きの車内で様々な案内をしていたが、写真についての案内をすることを忘れていた。ただ、配布したビニールバックの中身を説明したことで、お散歩のときにたんけんループを使ってくれていた。  
→集合写真を撮る際に声をかけたが、足りなかったかも。ギプサン氏がサポートしてくれて、若松さんママは写真NGであることが分かった。さらに帰りにバス下車後声をかけて他の方はOKだった。
- ・△参加者の名前を伝えてもらう自己紹介の時間を取れなかった（細田が現地集合の方の受付や説明をしていて、タイミングを逃してしまった）
- ・今回7組さんの参加で、講師・スタッフ4名で対応した。こちら側は全体を見渡しながら対応しつつ、参加者の皆さんにも何かあればスタッフへ声をかけてもらうようにした。散策路が狭いこと（そこからどこかに行きにくい）やキャンプ場は傾斜があり見渡しやすいこともあり4名でも対応しやすかった。しかし、バス下車後のトイレの部分はバタバタしてしまったことは反省点。

## ■写真



## 《Event 4》 ”Winter Tips to Care for Babies & Toddlers”. 冬を元気に過ごそう！

- 日時 11月10日(木)10:00～11:30
- 場所 もりおか子育て応援プラザ ma\*mall セミナールーム
- 定員・参加数
  - ・定員…5組
  - ・参加者…2組4名参加(3組6名キャンセル)
- 参加費 無料
- 協力者
  - ・講師:小豆嶋祥子氏(管理栄養士)
  - ・共催:もりおか子育て応援プラザ ma\*mall
- 運営側・スタッフ
  - 両川いずみ(総括)、佐藤ひとみ氏(マモールスタッフ)
  - ※担当の細田は子どもが新型コロナ濃厚接触者により欠席
- 内容
  - 免疫アップのレシピ紹介や冬の過ごし方
  - 赤ちゃんのリズム遊び
  - おしゃべり会。



## 2 令和4年度盛岡市子ども・子育て支援事業

### 年末年始特別産前産後支援プロジェクト！

～楽しい子育ては、子育て支援の最初の一步 産前産後の手厚い支援から～

#### 《目的》

長い子育て期間のスタートである産前産後支援の充実がその後の子育てにも大きく影響されることは子育て現場で認識され、法律化されてきた。核家族化が進み様々な社会的事由から親を頼れない妊産婦が見られる。孤独な子育てを防ぐために盛岡市でも産前産後サポート事業が実施されている。しかし、現場を見ると行政だけでは産後ケアが十分とはいえず、民間との連携で実施していく必要性を痛感せざるを得ない。しかし民間で取り組むには資金源や信用に足る安全性、継続性、周知の準備が必要である。

そこで期間(11月から2月)モニター数(8組、無料)限定で、産前産後支援を希望する人をモニターとして募る。多様な産前産後支援をアウトリーチで行う事業・デイサービス事業(もりおか子育て応援プラザ活用)のアンケート調査などを通して、現在、当法人で実施している産前産後ケア事業を充実させ、行政が行う事業とのすみ分け、民間として継続可能なシステムを構築する。安心して子供を産み育てられる街づくりの一環とする。

## 実施期間・プログラム

期間：令和4年10月1日～令和5年3月29日

### 関係機関との連携

#### a.産前産後支援者(サポーター)の充実

- サポーター募集(有資格者、ベテランママ)
- サポーター育成研修

#### c.産前産後支援アンケート調査

#### b.産前産後支援モニタリングの実施

##### ■アウトリーチ部門(希望者宅訪問)

###### ○産前支援内容

- ・出産準備、赤ちゃんを迎えて1日の過ごし方、沐浴練習
- ・夫婦のコミュニケーションについて(アサーション)

###### ○産後支援内容

- ・助産師による相談、アドバイス
- ・サポーターによる片付け、買い物、病院付き添い、洗濯取り込みなどの家事支援、沐浴、託児

##### ■デイサービス部門

###### (もりおか子育て応援プラザ)

###### ○ママサロン(毎週火曜日)月1回助産師

###### ○パパと遊ぼう赤ちゃんの筋トレ遊び12/3

講師：助産師 川島智世氏

#### a.産前産後支援者研修会

- ・日時：11月16日(水)9:20-16:00
- ・場所：もりおか子育て応援プラザ ma\*mall セミナー室

内容	講師(担当)
9:20-10:50 産後の体の変化	金谷掌子氏 (岩手県立大学看護学部助産師)
11:00-12:30 産後鬱について	奥寺三枝子氏 (元岩手県保健師、岩手県妊産婦メンタルヘルス委員)
13:30-15:00 託児について	佐藤ひとみ氏 (ma*mall スタッフ) 佐藤みゆき氏 (元サポーター)
15:00-16:00 事業について	両川いずみ氏 (認定 NPO 法人いわて子育てネット)



**b.産前産後支援モニタリングの実施**

**■アウトリーチ部門(希望者宅訪問)**

- ・ 事業開始後、助産師の訪問を追加 (3回訪問のうち1回実施)
- ・ 11月~2月末までに8組23回訪問
- ・ 助産師の訪問は8組中5組実施
- ・ 3/14反省会実施

《千差万別なニーズ》  
簡単な家事、買い物代行、上の子の見守り、赤ちゃんの見守り、産前支援、訪問託児、赤ちゃんの予防接種同行、ママの受診同行・子どもの見守り  
助産師の相談対応、支援内容説明



アウトリーチ部門から見てきたこと

**■依頼者**

- ・ 人に家事などを頼むことに慣れていない
- ・ 母親の孤独感・不安感
- ・ 行動・交流の広がり、母親の前に進む力が生まれてきた  
⇒アウトリーチ部門は必要なプログラムである
- ・ 専門家が訪問・助言すれば問題が解決するわけではない
- ・ 支援開始にあたっての訪問による説明  
⇒アウトリーチによる面接・依頼者と支援者のマッチングの必要性

## ■デイサービス部門（もりおか子育て応援プラザ）

### ○0歳児のママサロン(毎週火曜日10:30-11:30)

- ・共催：もりおか子育て応援プラザma\* mall
- ・11月～2月実施 45組92人参加（定員5組/回）
- ・事業開始後、1か月に1回助産師が同席し、相談ができる体制を作った。1時間の前半は通常通りストレッチや親子遊び読み聞かせや季節の制作を行った。
- ・助産師が同席していたデイサービスと参加者数は次の通り。

日時	11/15	12/6	1/24	2/21
参加者数	1組2人	5組10人	3組6人	4組8人



#### デイサービス部門から見てきたこと

- ・母親のリラックス・楽しみにつながった、参加者の笑顔
- ・一度に多くの母子の相談支援が行える
- ・ほかのプログラムや支援、施設利用につながった
- ・「該当の産科にもともとかかっていないと利用できなかつたり、コロナ対策で利用できず残念に思っていました…」
  - ⇒デイサービス部門も必要な事業である
  - ⇒デイサービス部門をプラットフォームにしなが、様々な支援につなげていく形

### ○パパと遊ぼう 赤ちゃんの筋トレ遊び

（赤ちゃんの生後すぐ～3歳ころ）の脳や運動機能を発達させる。

- ・日時：2022年12月3日（土）10:45-11:30
- ・場所：マモールセミナールーム
- ・協力者：3組6人（3か月、4か月、10か月の男の子とパパ）
- ・協力者には、講師著書と協賛の江崎グリコ株式会社からのプレゼントを渡した。
- ・講師：川島智世氏（助産師）
- ・普及のために映像撮影・編集（ネットタッチ合同会社）し、当法人ウェブサイトから見られるようにした（3月30日まで）。3/29時点62回再生。



### C.産前産後支援アンケート

#### ○種類

## 議案第1号

- ・母親・妻用
  - ・父親・夫用
  - ・アウトリーチ部門モニター用
- アンケート調査票監修、アドバイス
- ・監修：金谷掌子氏（岩手県立大看護学部助産師学部）
  - ・アドバイス：高濱裕子氏（お茶の水女子大学名誉教授）

## まとめ

### <母親・妻へのアンケート調査のまとめ>

#### ①妊娠中について

- ・困ったことや不安があった方が54%だった。夫の場合は88%であり、夫婦で妊娠中の困り感や不安が異なることがわかった。
- ・妊娠中して支援して欲しかったことがあった方は84%だった。その内容の上位は夫や自分の親の協力と出産・出産後の生活を学び考える機会が上位だった。

#### ②産後について

- ・困ったことや辛かったことがあった方は89%だった。その内容の上位は授乳、上の子ども、家事、育児についてだった。また自分のケアができなかったも上位に入っていたのは特徴的だった。一方夫や親とのコミュニケーションがうまく取れないことについては下位だった。

⇒母親のケアに対する支援の必要性が考えられる。

### <父親・夫へのアンケート調査のまとめ>

#### ①妻の妊娠中について

- ・困ったことや不安があった方が88%だった。このうち、「妊娠中の妻のサポート」や「母子ともに無事出産できるかどうか」、「子育て」についての不安が多かった。一方「自分の体のこと」を選択肢で選んだ方は1人だった。自分のことよりも家族を優先して考えていることが垣間見える。
- ・相談できる人がいたのは全体の82%だった。妻用アンケートの回答では全体の93%であることと比べると少ない印象を受ける。また、妻の妊娠中支援して欲しかったことがある70%の具体的支援を見ると「気軽に話を聞いてもらう」が上位に来ていた。

⇒夫も妊娠中から不安を抱えており、相談できる相手がいない方もいる。そのような中で気軽に話をしたり相談できる場や機会が必要であると考えられる。

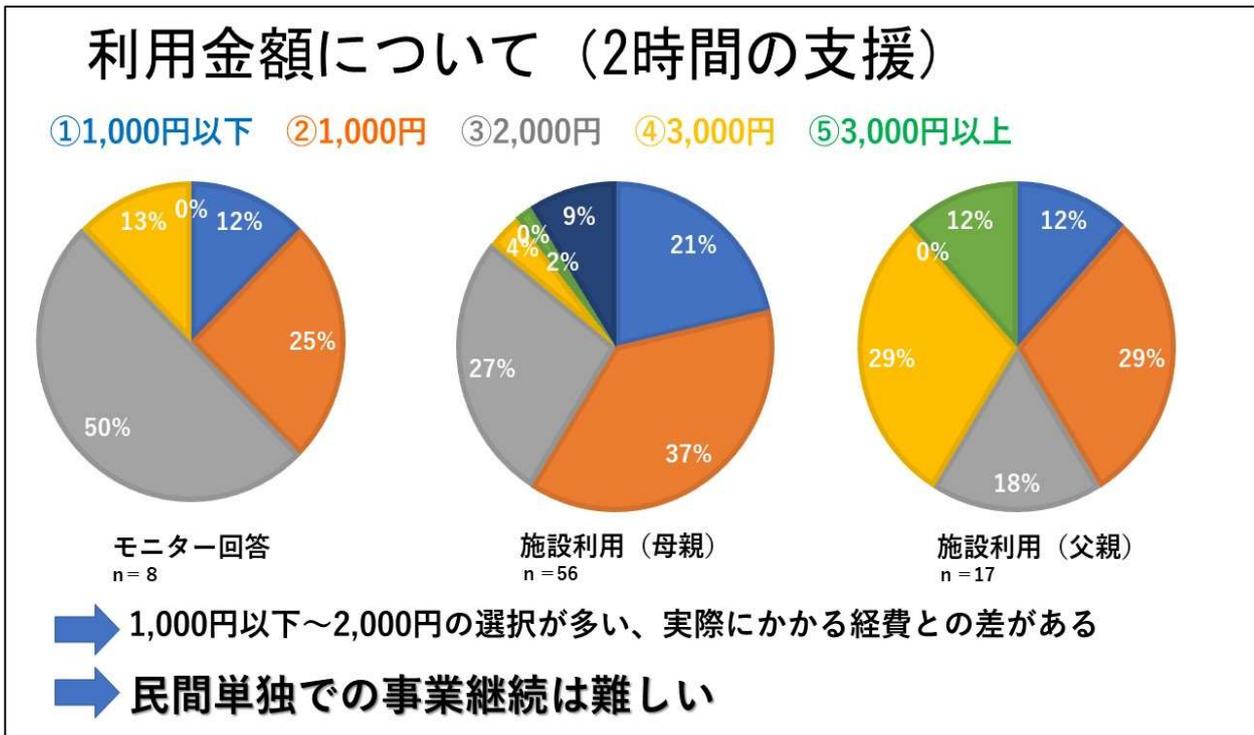
#### ②赤ちゃんが生まれてからについて

- ・辛かったことがあった方が82%だった。その中身の上位のものは育児に関わることと妻の様子が出産前と違っていることだった。

⇒事前に知っていても戸惑うことは多いかもしれないが、改めて産前に育児そのものや妻の出産前後の変化について知る機会が必要であることがわかった。

## 父親・夫への支援の必要性

- ・夫も妻の妊娠中から不安を感じている
- ・相談できる相手がいない方もいる
  - ⇒気軽に話をしたり相談できる場や機会の必要性
- ・赤ちゃんが生まれてから辛かったことがある
- ・「育児に関わること」「妻の様子が出産前と違っている」
  - ⇒子育てに関する学び
  - 出産前後の妻の変化について知る機会
  - ライフプランづくり機会の必要性



提案 より産前産後支援事業が活かせるように

提案1：デイサービスの機能の充実⇒プラットフォーム機能

提案2：行政と民間と協働して取り組む

提案3：恒久的、安定した資源⇒こども保険設立

### 3. 事業に実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
子どもの健全育成を図る活動	○子育てサポートセンター特定業務事業（岩手県からの委託事業）	4月1日から 3月31日まで	子育てサポートセンター	常勤2人 有償ボランティアスタッフ5人	利用者総数 16,423人	10,978
	■交流の場の提供 開設日数 333日	常時				
	■相談業務 件数 129件					
	■情報提供 ホームページの情報更新回数 0件					
「センター便り」の発行 月1回発行計 2,400枚						

議案第 1 号

	「子育て情報便」の発行 年 1 回発行 130 部					
	機関紙「にこっと」発行 年 1 回発行計 5,000 部					
	その他講習・研修案内等の情報提供 7 回					
	■子育て親向け講習 3 回					13 人
	①悩み解決！ママ講座 トイレトレーニング	① 5/16				① 親 3 人 託児 3 人
	②悩み解決！ママ講座 離乳食のすすめ方	② 10/27				② 親 6 人 託児 5 人
	③家族のためのパパの料理教室	③ 11/5				③ 4 人
	■子育て支援に関する研修・子育て支援者向け研修会 4 回					39 人 オンデマンド参加 252 人
	① 「子供にとっての遊びって何？」対談形式	① 6/29				① 11 人、オンデマンド参加 62 人
	② 「相談対応について」	② 8/30				② 10 人、オンデマンド参加 96 人
	③ 「よりよい関係づくりに役立てましょう～アサーティブコミュニケーションを用いて～」	③ 10/12				③ 9 人、オンデマンド参加 46 人
	④ 「赤ちゃんとどう遊んでいいかわからないパパやママのための赤ちゃんの筋トレ遊び」	④ 12/2				④ 9 人、オンデマンド参加 48 人
	■イベント					
	一緒に遊ぼう	5/26, 6/23, 8/25, 10/6, 11/24				67 人
	季節の遊び	4/28, 7/7, 9/9, 12/11, 1/22, 2/3, 2/25				234 人
	お誕生会	月一回				234 人
	子育てなんでも相談	月一回				11 人
子どもの健全育成を図る活動	○盛岡市つどいの広場にこっこ (盛岡市からの委託事業)	4 月 1 日から 10 月 17 日まで				利用者総数 4,556 人
	■交流の場の提供 開設日数 161 日					
	■相談業務 件数 108 件	常時				
	■情報提供 お便り毎月					
	■セミナー・研修					
			にこっこ	常勤 1 人、非常勤 3 人、有償ボランティアスタッフ 5 人		3,884

議案第1号

	あのねのね	4/8、5/13、6/10、7/8、8/12、9/9、10/14			105人		
	なんでも相談	9/30			2人		
	■イベント						
	七夕短冊書き	7/1～31			自由参加 288人		
保健、医療又は福祉の増進を図る活動	○岩手医大病後児等保育支援事業 (岩手医大からの委託事業)	4月1日から 3月31日まで	医大 内丸・矢巾 キャンパス	常勤1人	利用者総数 4人	2,041	
	■子どもの預かり	6/3、9/24					
保健、医療又は福祉の増進を図る活動	○女性医師育児支援事業 (岩手県医師会からの委託事業)	4月1日から 3月31日まで		常勤1人	利用者総数 15人	1,785	
	■子どもの預かり ・健常児預かり (12人) ・病児預かり (1人)	6/3、9/24、10/22、11/22、 11/26、12/3、1/28、2/18 3/4、3/18、3/21					
子どもの健全育成を図る活動	○もりおか子育て応援プラザ運営業務	4月1日から 3月31日まで		常勤2人、非常勤2人、有償ボランティアスタッフ3人	利用者総数 6,345人	12,328	
	■交流の場の提供 開設日数 290日						
	■相談業務 件数 148件		常時				
	■情報提供 お便り毎月、市役所HP ブログ更新随時						
	■セミナー・研修会					708人	
	母乳相談	5/10、7/19、10/4、10/18、 11/15、12/20、2/7、3/7			もりおか子育て応援プラザ ma*mall	16人	
	ベビーマッサージ体験講座	4/11、4/18、6/13、6/20、7/4、 7/11、8/22、8/29、10/17、 10/25、12/5、12/12、1/23、 1/30、2/13、2/20、				50人	
	0歳児のママサロン	4/19、4/26、5/17、5/24、6/14、 6/21、6/28、7/5、7/12、7/19、 7/26、8/2、8/9、8/23、8/30、 9/6、9/13、9/27、10/4、10/18、 10/25、11/8、11/15、11/22、 12/6、12/13、12/20、1/10、 1/17、1/24、2/7、2/21、2/28、 3/7、3/14				227人	
	みんなであそぼう	4/22、5/27、6/10、6/24、7/8、 7/22、8/26、9/9、10/7、10/28、 11/25、12/9、12/23、1/13、 1/27、2/10、2/24、3/3				178人	
	グリコ栄養講座	4月～3月、月1回				80人	
	おもちゃ広場	6/15、6/16、6/17、6/18				79人	
	おはなし会	7/27、7/28				14人	
ハロウィンDAY	10/31			12人			
節分あそび	2/3			31人			

議案第1号

	ひなあそび	3/3			21人
	■託児利用				64人
	一時預かり				64人
	集団託児				0人
子どもの健全育成を図る活動	○「みんなでとっこクラブ」一緒にあそぼっ！楽しもう♪ (いきいき岩手支援財団助成事業)	4月1日から 1月13日まで			全体参加者数 45人
	Event 1 盛岡ってどんどこころ？	6/9	盛岡城跡公園	非常勤1人	2組4人
	Event 2 ミニさんさ太鼓づくり	7/21	ma*mall		6組13人
	Event 3 秋の遠足会～バスに乗って自然遊びに行こう♪	9/22	外山森林公園		7組14人
	Event 4 冬を元気に過ごそう！	11/10	ma*mall		2組4人
	Event 5 英語で遊ぼう！	1/13	ma*mall		5組10人
保健、医療又は福祉の増進を図る活動	○いわて子育てネット本部事業（自主事業）	4月1日から 3月31日まで			常勤1人
	年末年始特別産前産後支援プロジェクト		利用者宅など	モニター 8組親子 モニターアンケート 回答8人	
	産前産後支援プロジェクト アンケート			妻用アンケート 回答56人 夫用アンケート 回答17人	
	■にこにこサポート ・集団託児		各開催場所	10人	
	・訪問サポート 健全児（12人） 病後児（1人）		利用者宅など	15人	

《マスコミ関連》

令和4年5月20日	盛岡タイムス	子育て親子対象イベント開催「みんなでとっこクラブ」一緒に遊ぼっ！楽しもう♪
令和4年10月13日	IBC岩手放送	ラジオ収録
令和4年11月9日	岩手日報	産前産後サポートします。事業モニター募集
令和4年11月10日	岩手日報	わが子の絵本袋ミシンで手作り
令和4年11月21日	テレビ岩手	ごきげんテレビ収録
令和4年12月5日	岩手日報	赤ちゃんにも筋トレを～0歳児を持つ父親に伝授～

\* その他新聞社、テレビ、ラジオ局のイベント情報掲載や問い合わせも多数受けている。